



福岡医発第1603号(地)
平成23年10月 6日

各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会
会長 松田 峻一良
(公印省略)

経済産業省平成22年度「医療情報化促進事業」ご協力依頼
ー カルナヘルスサポートからの紹介患者受け入れのお願い ー

初秋の候、貴職益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、福岡県医師会では、昨年12月から九州大学井口教授、中島准教授らによる特定健診の保健指導・データ管理を実施しているカルナヘルスサポートに協力し、福岡県メディカルセンターにおいて医師会員が係わっている特定健診データを中心にデータベース管理を実施しております。

この度、カルナヘルスサポートにおいて、生活習慣病などを対象として地域連携クリティカルパスや医療から介護まで健康に関わる施設間でのシームレスな情報共有を、情報通信技術を活用して可能にする体制を構築する目的での実証試験が、経済産業省平成22年度「医療情報化促進事業」(平成23年3月～平成24年2月)に採択され、その実施にあたり本会へ協力依頼がありました。

そこで、平成23年9月8日開催の第17回全理事会で協議の結果、今回の実証試験に協力することになりました。

つきましては、下記内容について貴会会員へ周知方よろしくお願い申し上げます。

記

1. 経済産業省平成22年度「医療情報化促進事業」の概要・目的

生活習慣病などの疾病管理を目的としてIT技術を活用し、医療機関を中心とした一定の地域の関係者間において、シームレスにデータ共有を可能にするモデル構築の実証事業です。具体的には、特定健診結果において糖尿病を疑われる方で未通院の対象者に通院開始を働きかけ(受診勧奨面接)、通院導入(受診勧奨)を行うことで、放置による状態悪化の防止を目指しています。(実証試験開始：平成23年9月中旬頃、実証試験終了：平成24年2月末頃)

2. 協力依頼事項

全国健康保険協会(協会けんぽ)被保険者の内、特定健診によって、糖尿病が疑われる方で、受診勧奨基準に該当し、現在未通院の方が、会員医療機関の受診を希望された場合、カルナヘルスサポートから当該医療機関に受け入れのお願いの連絡をすることがあります。連絡がありましたら、対象者の受入れについてご協力いただきますようお願い申し上げます。

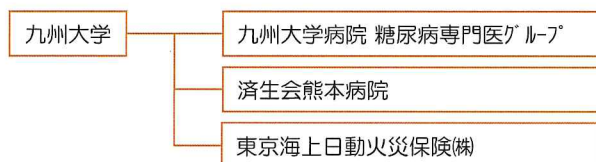
なお、

- 1) 対象者には、カルナヘルスサポートにおいて事前に面接を行い、本事業についての同意を取ることとなっています。
- 2) 対象者と何かトラブルが生じた場合には、カルナヘルスサポートが全責任を負います。
- 3) 不明な点等ありましたらカルナヘルスサポート事務局へご連絡願います。必要がありましたらカルナヘルスサポートより説明へ伺います。

(問合せ先：カルナヘルスサポート事務局(担当：田中) TEL・FAX 092-642-6459)

～ 日本の医療制度に適応した疾病管理（Disease Management）事業 ～

カルナプロジェクトとは、生活習慣病（糖尿病・糖尿病予備軍・メタボリックシンドローム）を対象に日本型Disease Management（疾病管理）を行うことにより、通院脱落防止、医療者と患者信頼関係構築支援および、診療支援を行い、生活習慣病の発症予防（一次予防）、早期発見・早期治療、合併症発症予防および重篤化防止（二、三次予防）の実現を目的とする事業です。



* その他福岡県医師会様をはじめとした各種団体様にご協力をいただいております。

カルナヘルスサポートは上記内容を実施することを目的として設立された産学連携事業会社です。

名称 : カルナヘルスサポート
 登記日 : 平成18年10月27日
 形態 : 合同会社（LLC）
 住所 : 〒812-0024
 福岡市博多区綱場町1-16多田ビル5F
 連絡先 : TEL 092-263-4381 FAX 092-263-4390



“カルナ”とは、ローマ神話に登場する健康を司る女神の名前から命名

【特定健診保健指導サービス】

事業化済み

厚生労働省「標準的な健診・保健指導プログラム」に則った以下のような支援を行います。

ITシステムのASPによる提供

- 「健診データ共有システム」
- 「面談予約システム」
- 「面談ナビゲーションシステム」
- 「継続支援スケジュール管理システム」 など

コールセンターによる特定保健指導支援

- 保健指導者（保健師・管理栄養士・看護師）の派遣
- コールセンターよりお客様の介入スケジュールにあった介入の実施（個人面談・メール・郵送・電話）
- 集団指導の実施

【糖尿病合併症発症予防サービス】

研究段階

治療計画・管理支援

- 合併症の進行状況に対応したクリティカルパス（約2900パターン）を用いて、治療計画の立案及び実施管理を支援

通院開始・中断防止支援

- コールセンターから、患者様へ診察日のお知らせや確認、主治医様への状況連絡等を行うことにより、治療の中断防止、通院継続を支援

合併症早期発見支援

- 合併症発見質問アルゴリズムを用いて、患者様への定期的な聞き取りを行い、合併症の兆候の早期発見を支援
- また、専門医による診察が必要となった場合の紹介状の作成を支援

患者教育支援

- 患者様への定期的な聞き取りによる治療に必要な知識の理解度チェック、理解不足がみられる場合の参考教材の提供など、患者様の教育を支援

治療意欲支援

- 検査結果の患者様へのお知らせは1ヶ月後の次回診察日となるため、ヘモグロビンA1cの検査結果が分かり次第、主治医様のコメントを添えて患者様にお知らせすることで、治療意欲の向上を支援